

2025年1月24日(金)9時からCRTスタジオで収録

読書をする時には、十分な照明を確保したうえで、辞書・地図帳・歴史年表を身近に置こう
「本格的な読書の方法を考える」

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：これぞという、1冊の本を、腰を据えて、最後まで読むと「決意」をした場合に、身近に置いた方がよいものは何ですか。

A：あります。たくさんあります。

(1)①まずは、十分な照明です。読書には、読んでいる本の文字が、はっきり見えるだけの「明るさ」が欠かせません。

②どのようなものでもOKですから、「十分な照明」をご準備ください。

③寝ころびながら本を読むのが好きな人は、部屋の照明を付けながら、布団やベッドのそばに「文字が読める照明」を。

④テーブルや机を用いて本を読む場合にも、読んでいる本の文字が、はっきり見えるだけの「電気スタンド」をご準備ください。

(2)①次に、身近に置いた方がいいのは、「辞書」です。

②本を読んでいて、意味のわからない「語句」に出会ったら、「気持ちが悪い」と思い、「辞書」を用いて、その「意味」を調べることをおすすめします。

③「辞書」を用いて調べたら、その「語句」、「読み方(英語は発音記号)」「意味」を、「本の空いているスペース」や「意味調べノート」に書き込む。そして、発音練習と書き取り練習を行うことも、超おすすめです。

////////////////////////////////////

○英語の勉強には、「辞書による意味調べ」が超おすすめです。例えば、シェイクスピアは「リチャード三世」という歴史をあつかった作品があります。ていねいに読めば、4500語以上の英単語を、この一つの作品で修得できます。

○「これぞという本は、最後まで読む」。

○「意味のわからない語句」は、「辞書を用いて全部調べ、全部覚える」ことを、おすすめいたします。

○「気に入った表現も、全部覚え、口をついて出てくるようにする」

////////////////////////////////////

(3) <地図帳>

①「地図帳」も欠かせません。歴史がたくさん出てくる本を読むときには、可能であれば、「歴史地図帳」は、役に立ちます。

②本を読んでいて、「地名」が出てきたら、その「地名」にしるしをつける。

③そして、その場所を、「地図帳」で確かめる。

○その日の読書が終了したら、「復習」として、その日に確認した「地名」を、もう一度「地図帳で確認」、「発音練習」「書き取り練習」を繰り返し、しっかり身に着け、「定着」させる。

(4) <地図帳>

①どのような本を読む時にも「歴史年表」をご準備ください。

②「年代(西暦・年号)」が出てきたら、印をつけ、必ず、「歴史年表」で「確かめる」。

③「学校の歴史教科書」や、読んでいる本の「最後」に出ている「年表」で不十分なら、本格的な年表のご準備を。

○「歴史年表」には「日本歴史年表」「世界歴史年表」があります。読んでいてる本に応じて、この二つを使い分けることをおすすめします。

○岩波書店版は安心して使えます。

Q:「辞書」や「地図帳」「歴史票」は、読書だけではなく、テレビドラマや、映画を見るときも役に立ちそうですね。ニュース番組を見たり聞いたりするとき、新聞を読むときにも、役に立ちそうですね。

A: その通りです。

(1) NHKの大河ドラマ、「坂の上の雲」の再放送、2024年の「光る君へ」、今年の「べらぼう」、NHKの朝のTVドラマ、「虎に翼」「おむすび」等を見るときはどうするか。

①地名が出てきたら、「地図帳」で確かめる。

②「年代(西暦や年号)」が出てきたら、「歴史年表」で確かめる。

③よくわからない語句が出てきたら「辞書」や「歴史の教科書」「日本史の用語辞典」で確かめる。

(2) ①同じように、テレビやラジオ、新聞で地名が出てきたら、「地図帳」で確かめる。

②「年代(西暦や年号)」が出てきたら、「歴史年表」で確かめる。

③よくわからない語句は、「辞書」で意味を確かめる。

(3) ①このように、「辞書」「地図帳」「年表」を身近に置き、折に触れて利用する。そうすると、ドラマやニュースの「理解」が深まります。

②自分の力で考えることができるようになります。「自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ようになります。

③是非ご挑戦くださいね。

Q：最後に一言どうぞ。

- A：(1) テレビドラマを見るときに「辞書」「地図帳」「歴史年表」を身近に置き、「番組の理解」を深め、そのことに、興味・関心は出てきたらどうするか。
- (2) ①「光る君へ」で、平安文学に興味が出てきたら、「源氏物語」(紫式部)、「枕草子」(清少納言)、「更級日記」(菅原孝標の娘)などを、読んでみる。
- ② まずは現代語訳で、面白そうなものは、少しでもいいから「古文」で。
- ③ 日本史の教科書や参考書で、「平安時代」を章を、読んでみる。
- (3) ①「べらぼう」で、江戸時代の文学に興味が出てきたら、「好色一代男」「好色五人女」「日本永代蔵」(井原西鶴)、松尾芭蕉、小林一茶などの俳諧・俳句などを紐解くと面白い。
- ② 中学の「歴史」、高校の「日本史」の教科書や参考書で「江戸時代」を読み直してみる。
- ③ 「徳川家康」(山岡荘八)、「宮本武蔵」(吉川英治)など、読みやすい「歴史小説」を読んでみることも、面白いと思います。

よろしく申し上げます。

お身体お大切に。